

下関港新港地区国際物流ターミナル整備事業  
費用便益の概要

便益

項目	区分	単位当りの便益		便益(代表年)	
		単位	備考	単位	
利用者便益	輸送コスト削減 (風力発電部品)	38	千円/トン・年	輸送距離、輸送時間短縮による風力発電 関連貨物の輸送コスト削減	0.3 億円/年
	輸送コスト削減 (輸出中古自動車)	28	千円/台・年	輸送距離、輸送時間短縮による輸出中古 自動車の輸送コスト削減	1.9 億円/年
	輸送コスト削減 (コンテナ貨物)	1	千円/TEU・年	輸送距離、輸送時間短縮による外貿コン テナ貨物の輸送コスト削減	0.03 億円/年
	荷役の効率化 (コンテナ貨物)	7	千円/個・年	荷役の効率化によるコンテナ貨物の輸送 コスト削減	0.2 億円/年
安全便益	避難水域確保による 海難損失額の回避	2.5	億円/隻	安全な避泊水域の確保による海難損失 額の削減	20.0 億円/年
	PCC船乗場回避によ る海難損失額の削 減便益	132	億円/隻	安全な泊地水域の確保によるPCC船の 乗揚海難損失額の削減	15.0 億円/年
交流・レクリエー ション便益	国際観光純収入の 増加	20	千円/人	外航クルーズ船の寄港により、外国人旅 客による観光産業の売上増加	19.3 億円/年

\* 便益の算出にあたっては、「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル(令和6年6月)」等を参照

費用

費用項目	建設費、管理運営費 等
事業の対象施設	岸壁(水深12m)、泊地(水深12m)、護岸(防波)、防波堤、橋梁・道路、ふ頭用地、荷役機械 等